

# 船橋市議会報告・ご意見をお聴きする会

対 面 毎月第一土曜日 10時～12時 場所：船橋市勤労市民センター

オンライン(Zoom) 毎週金曜日 20時～21時 ID:950 677 2271 パスコード:058665

市政の情報、議会での議論を報告します。同時に、皆様のご意見・ご要望をお聴かせいただく会です。申込不要。気軽にご参加ください。



## ●勉強ひろば(自習質問教室)を各公民館で開催

小中高校生、受験生の自習を見守り、質問に答える勉強ひろば(自習質問教室)を、各公民館を巡回し実施しています。開催日程は以下QRコードでご確認ください。また教える側のボランティアのスタッフも募集中です。

### がんばれ受験生

千葉県公立高校入試「数学」解答解説 →  
大学入試共通テスト数学(IA・IB)・生物・生物基礎・倫理・政治経済(地方自治) →



開催予定  
& 詳細



映画(Netflix・アマプラ配信作品中心)、小説・本、アニメ お勧めリスト



婚活をお考えの方へ(友人主催の相談所です)



発行者 朝倉幹晴

〒273-0044 船橋市行田2-6-9-411

公式サイト <https://asakura.chiba.jp>

携帯 090-4075-5967

メール [info@asakura.chiba.jp](mailto:info@asakura.chiba.jp)

- 1988年 東京大学農学部卒
- 89年 駿台予備学校生物科講師
- 95年 船橋に転居(文京区より)
- 97年 安歩権を掲げ、道・駅改善の市民運動スタート
- 99年 船橋市議(無党派)当選(現在6期目) 徒歩と自転車で活動中

- ・愛知県豊橋市生まれ
- ・日本分子生物学会会員

「休み時間の生物学」(講談社)

「病気とくすりの基礎知識」(講談社サイエンティフィック)  
「円」「三角形」「図形の証明」「ウイルスと遺伝子」  
「ナイチンゲール生誕200年ーその執念と夢」



著書



公式サイト・SNS一覧



@asakuramikiharu



YouTubeチャンネル

この報告書はチラシではありません。市議・朝倉幹晴の公約に基づく公式の船橋市議会報告書です。

# 無党派市議会議員 朝倉みきはる

(駿台予備学校生物科講師)

理系の視点で  
船橋市政に提言!!

議会・諸活動報告書

あさくらだより



[info@asakura.chiba.jp](mailto:info@asakura.chiba.jp)

<https://asakura.chiba.jp>

107号(2024年1月発行)

## 2023年11月29日、船橋市議会質疑報告

### 船橋市にも大学病院を

千葉県内には、市川、浦安、松戸、柏、印西、八千代、千葉、成田、佐倉、市原市に大学病院があります。船橋市の人口は1つの県に並ぶ約65万人に増えています。船橋市にも大学病院が必要です。現市長の市立医療センターの水害危惧地区への移設を含む計画(海老川上流地区開発、市民1世帯17万円市税負担)は見直し、大学病院誘致を考えるべきです。(→2～5面)



市・県	人口	大学病院
千葉市①	98万	○(千葉大医学部・東京歯科大)
島根県	65万	○(島根大医学部)
船橋市②	65万	×
鳥取県	54万	○(鳥取大医学部)
松戸市③	50万	○(日大松戸歯学部)
市川市④	50万	○(国際医療福祉大・東京歯科大)
柏市⑤	43万	○(慈恵医大)

①～⑤は千葉県内の人口順 2023年12月時点

## 戸建・アパート・マンション等への支援策

船橋市では、4割が戸建住宅、3割がアパート等賃貸住宅、2割が分譲マンション、1割がUR・公営住宅・社宅等に住んでいます。それぞれの住み方への支援策を市に提言しました。(→6面)



## 「セカンドキャリア」支援事業

シニア世代の再雇用や若年・中年層のスキルアップのための「セカンドキャリア」支援事業を船橋市も実施するように質疑しました。(→7面)

他の主な中面掲載記事

学校・園給食費3か月無償化、障がい児保育園受け入れ、ペット同伴避難所(→7面)

西武船橋跡地計画(→6面) 泉房穂前明石市長、大野市長と(→5面) 箕輪はるか・健康講演会(→3面)

最新情報を朝倉幹晴公式サイトで速報中  
(YouTubeチャンネルもあります)

- 市発表・市議会情報 ●街づくり案情報 ●水害・地震対策情報
- 千葉県公立高校入試・大学入試共通テスト数学・生物解答解説



朝倉幹晴  
公式サイト



YouTube  
チャンネル

# 船橋市にも大学病院を

質疑動画・大学病院誘致関連資料など→



## 質疑（船橋市にも大学病院を）

1973年、当時の田中角栄内閣は「一県一医大構想」を閣議決定しました。その結果当時、医学部・医科大学のなかった13県を含め、全県に医科大学・医学部・大学病院が設立されました。「一県一医大構想」は国の最低基準であり、人口が多い県では私立も含め多くの医学部・医科大学・大学病院が存在します。千葉県内では、市川、浦安、松戸、柏、印西、八千代、千葉、成田、佐倉、市原市に大学病院があります。

船橋市の人口は1つの県に並ぶ約65万人に増えています。船橋市にも大学病院を誘致すべきです。

ところが、現市長は市立医療センターの水害危惧地区への移設を含む海老川上流地区開発（538億円、市民1世帯あたり17万円の市税負担）に固執しています。

ところが、現市長は市立医療センターの水害危惧地区への移設を含む海老川上流地区開発（538億円、市民1世帯あたり17万円の市税負担）に固執しています。

大学病院誘致により、市立医療センターと役割分担しながら並存させていく、あるいは大学病院への統合の可能性も含め検討をすすめるべきです。

大学病院誘致には3つの利点があります。

- ①大学の教育・研究の中に組み込まれることにより、医療機器・医療内容の更新も含め、最新の医療内容が提供できる。
- ②建設・維持コストの一部が、大学・大学病院の経営に移管されることで、市立医療センター単独の移設建設・維持コストより、市税の負担を減らすことができる。
- ③誘致大学と協議し、船橋市立看護専門学校（3年制）を、保健師資格も所得する4年生の大学看護学部が発展させる可能性が出てくる。

また、大学生が街に増えること自体も街の活性化につながります。

船橋市民の医療体制の充実をはかるためには、船橋市は、大学病院誘致を考えるべきではないでしょうか？

市・県	人口	大学病院
千葉市①	98万	○（千葉大医学部・東京歯科大）
島根県	65万	○（島根大医学部）
船橋市②	65万	×
鳥取県	54万	○（鳥取大医学部）
松戸市③	50万	○（日大松戸歯学部）
市川市④	50万	○（国際医療福祉大・東京歯科大）
柏市⑤	43万	○（慈恵医大）

①～⑤は千葉県内の人口順 2023年12月時点

### その他の県内の市の大学病院

八千代市（東京女子医大八千代医療センター）  
 浦安市（順天堂大学医学部附属浦安病院）  
 印西市（日本医科大学千葉北総病院）  
 成田市（国際医療福祉大学成田病院）  
 佐倉市（東邦大学医療センター佐倉病院）  
 市原市（帝京大学ちば総合医療センター）  
 （鴨川市（亀田総合病院・亀田医療大学））

→（市答弁：副市長）（要旨）船橋市立医療センターは、三次救急を担う救命救急センターとして24時間体制で救急医療を行っており、こうした使命や機能・役割といったものを将来にわたって担っていくために市立病院である医療センターとして、市の中心である現候補地（海老川上流地区）への移転・建替えに向けた設計等を現在進めているところである。議員からいくつかメリット等をあげられておりましたが、大学病院誘致による統合といったことなどは考えておりません。

船橋市が大学病院の誘致を検討する姿勢に変わるよう、私は引き続き主張してまいります。

## ●医学部受験生に、連続講演会を実施し次世代を育てています。（予備校にて）



鄭雄一 医師  
（東京大学医学部教授、骨研究他）



佐藤圭子 医師  
（順天堂大学病院小児科医（講演当時））



小澤竹俊 医師  
（在宅緩和ケア医、慈恵医大等で講師）



長谷川智華さん  
（東邦大学法医学教室助教）



栗原茉莉子 医師  
（昭和大学病院・救急医）



高木優維さん  
（日本医科大学学生、がん研究）



## 箕輪はるか（慈恵医大准教授）講演会を各公民館で巡回実施中

箕輪はるか准教授（慈恵医大アイトーブ施設）には、船橋市の公民館に巡回しご講演いただいています。昨年（2023年）は坪井（4月）、小室（7月）、塚田（10月）、二和（11月）に実施しました。

今年の開催予定→



## 3月24日（日）1時～3時半 連続講演&パネルディスカッション

「どうつくる？からだと社会の健康」@勤労市民センター を開催します。

講師 小川康（チベット医・薬剤師）、坂部昌明（鍼灸師・明治国際医療大学）、朝倉幹晴（船橋市議）、田野尻哲郎（大阪大学）  
ぜひご参加ください。

詳細→





# 海老川上流地区開発・医療センター移転は見直しを



質疑・関連資料

## 現市長の進めようとしている海老川上流地区開発とは？

海老川上流地区（東葉高速線と海老川の交差地区）に新駅と区画整理の街（区画整理組合の業務代行者は株式会社フジタ）を作り、その一角（新駅から800m地点）に船橋市立医療センターを現在の位置から移設・建設しようとする計画です。

この計画に投与されようとしている市税は総額538億円（市民1世帯あたり17万円）で内訳は右表のとおりです。（2023年度時点の積算なので、大阪万博と同様、今後、市税負担が更に上昇する危惧もめぐえません）。

フェイスビル・保健所・小学校建設など他の事業と比較しても多大な金額です。私は、市税をバランスよく使うべきとの観点で、この計画は見直すべきと考えています。

それを踏まえて2023年9月12・14日に以下の質疑を行いました。

### ●朝倉質疑1（洪水危惧地点への移設は見直すべき）

読売新聞2023年9月5日千葉版に「病院予定地液状化懸念」という見出しの衝撃的な記事が掲載され、ハザードマップで赤い場所（洪水危惧地点）への移設に関し、多くの市民の方々が危惧を感じています。市はどう考えているのでしょうか？

→（市答弁）インフラが被災し、途絶した場合でも医療機能を維持できるように、非常用発電機や井戸、緊急汚水貯留槽の設置、水や食料品、診療材料の備蓄の確保に努めていく。

### ●朝倉質疑2（各地域の中核的な病院へのバランスよい支援を）

市内には、以下のように地域ごとに中核的な病院があります。

船橋中央病院・船橋総合病院・千葉徳洲会病院・青山病院・板倉病院・北習志野花輪病院・東船橋病院・船橋二和病院・セコメディック病院

### 区画整理・新駅・医療センター移設建設の市税負担

（2023年時点積算）

	総額	1世帯あたりの負担額
区画整理に関する市負担金	67億	
新駅建設	57億	
市有地確保	71億	
計	185億	約6万円
船橋市立医療センター移設・建設費の市税投入*1	346億	約11万円
総計	531億	約17万円*2

### 他の事業との比較

	総額	1世帯あたりの負担額
船橋駅南口フェイスビル市負担金	130億	約4万円
保健福祉センター（保健所）建設費	51億	約2万円
塚田南小学校建設費	63億	約2万円

※1 医療センターの収益からの返済予定分を除く

※2 船橋市民32万世帯で計算（市議会質疑次点では30万世帯で計算しましたが、32万世帯で計算し直しました）



※1 医療センターの収益からの返済予定分を除く

※2 船橋市民32万世帯で計算（市議会質疑次点では30万世帯で計算しましたが、32万世帯で計算し直しました）

これらの病院、あるいは市外の病院に通院・入院し、医療センターを利用しない市民もいます。医療センターにだけ巨額な市税を投入せず、各地域の病院へバランスよく補助したほうがよいという考え方もあります。医療センター利用の実人数は？

→（市答弁）2022年度で外来は3.7万人、入院は0.9万人合わせて船橋市民の約7%が利用。

●朝倉質疑3 医療センターのB館は築40年であるが、C館新館・E館は築22・15年であり新しい。一方、市内には築60年以上の学校校舎（例 築65年の葛飾小東校舎）がある。なぜ医療センター建替えを優先させるのでしょうか？

→（市答弁）優先させているつもりはない。

●朝倉質疑4 私はどうしても医療センターの建替えという場合には、現地・隣接地建替えを選択肢に入れるべきと考えます。その視点から、2023年9月4日に、10年間をかけて外来・入院機能を維持しながら古い棟を新館に順次建て替える「現地ローリング建替え」を行った慶應義塾大学病院（信濃町）を視察しました。どうしても医療センターを建て替えるという場合は、水害危惧が少ない現位置か隣接地（土地交渉も含む）での建替えを再検討すべきではないでしょうか？

慶應病院ローリング建替え・医療センター周辺地図→



→（市答弁）再検討するつもりはない。

●朝倉質疑5 現市長は、担当課まかせで、海老川上流地区開発計画を打ち出して以降、市長自らによる市民説明会を1回も実施していません。長野県松本市の臥雲市長は、松本市立病院移転・建替え案に関し、市長自ら市民に説明する説明会を開催し、その記録は、YouTubeでいつでも見られます。（船橋市の）市長も市長自らによる市民説明会を開催すべきではないでしょうか？

松本市立病院説明会→



→（市長答弁）説明の仕方は考える。

この質疑後も、市HPに簡単なQ&Aが加筆されただけで、現市長は市民説明会を未だに開催していません（2023年12月20日時点）。とても残念です。

## 市民と直接対話の姿勢を重ねた泉房穂さん（前明石市長）と

無党派で市長になった前明石市長、泉房穂さんは東大駒場寮時代の寮友です。当時、寮長（98期）を務められた泉さんの少し後に私も寮長（102期）をさせていただきました。泉さんからは学生時代から多くのことを学ばせていただいています。泉さんは、市長在職中、市内での様々な問題について市長自らが市民に説明し、SNSでも発信する姿勢を貫かれました。



駒場寮同窓会にて

## 「イトヨ（糸魚）の里」福井県大野市の石山志保市長を表敬訪問

昨年7月、東大応援部の同窓である大野市長の石山志保さんを表敬訪問し、地方自治のあり方について意見交換しました。



# 戸建・アパート・マンション等への支援策



質疑・関連資料

船橋市32万世帯（65万人）は、戸建住宅に38%、アパート等賃貸住宅に30%、分譲マンションに21%、UR団地（賃貸）、市県営住宅、社宅、その他に11%と



様々な住み方をしています。それぞれに対する支援策が必要です。

戸建住宅に関しては、市の住宅バリアフリー支援事業を広報するとともに、環境性能向上への補助、不動産登記義務化を契機にした空家対策が必要です。→



アパート等賃貸住宅に関しては、船橋市は何の施策もありません。私は、自転車駐輪場所への屋根設置、宅配ボックス設置、階段のすべり止めなどの住民の生活を向上させる改修等の実施を促すように、市が補助すべきと質疑しました。→



分譲マンションに関しては、各管理組合理事会・専門委員会が住民（区分所有者等）の意見を伺いながらの管理・運営のご努力に敬意を表します。船橋市は「マンション管理計画認定制度」をスタートさせましたが、2023年12月時点で認定は3つの管理組合にとどまっています。認定申請のプロセスへの支援、高経年マンションの給排水・構造の長期・大規模修繕計画立案への支援を質疑しました。→



私は、高校生までは愛知県豊橋市の戸建住宅に住み、大学時代は学生寮、卒業後、文京区で4回、賃貸アパートの転居を重ねました。結婚を機に船橋市内の2階建て賃貸アパートに転入し、子育てを始めました。その後、UR賃貸（行田団地）を経て、今はマンションに住み管理組合理事長を務めさせていただいています。

「引っ越し人生」の中で様々な住み方を体感し、様々な住み方への支援策を市に提言していくことが私の役割と感じています。また、各支援策を考える上では、宅建士、マンション管理士、賃貸不動産管理士などの専門職の方々の意見を聴くべきと思います。

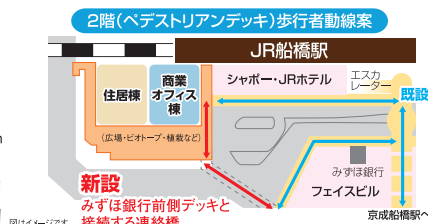
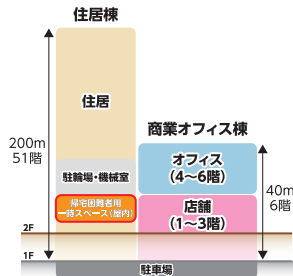
## 西武船橋店跡地開発と歩行者動線



跡地活用案詳細↑

西武船橋店跡地開発（船橋駅南口）に関して、現在の予定案は佐紀の通りです。

この開発の際、駅利用者も含む歩行者が歩きやすい環境を求めています。



# 「セカンドキャリア」支援事業



様々な世代の方々が「セカンドキャリア」支援を求めています。

- ①労働による社会貢献の意志や能力があるにも拘わらず定年などで退職したシニア世代
- ②出産育児や近親者介護などで前の仕事から一旦離れた人
- ③新しい自らの可能性を求めたい若年者も含む層



東京都でのイベント

その方々が、新たな自分の可能性を求めて、それまで培ってきた経験をもとに、新たな労働スキルを習得することを支援するのが「セカンドキャリア支援事業」です。東京都では企業幹部や大学教員などを講師とした「セカンドキャリア塾」を試行しています。船橋市でも実施すべきと質疑しました。（11月29日議会）

## 障がい児の保育園受け入れ体制確立を



船橋市内の保育園に、障がい児・医療的ケア児など発達に支援が必要な子が希望通り受け入れられず、保護者が辛い思いをされてきた声を何度も伺い、保護者とともに受け入れ体制の確立を求め、市議会でも質疑を重ねています。



## 船橋市でもペット同伴避難所設置を



船橋市ではペット同行避難が認められるようになりました。

私は、2018年7月に西日本豪雨の後、倉敷市に災害ボランティアで伺い、倉敷市立穂井田小学校に設置されたペット同伴避難所を見学しました。船橋でも市内数か所でもよいのでペット同伴避難所設置の検討をすべきです。



- 学校・保育園・幼稚園給食2024
- 市議5期20年で市政有年1～3月短期無償化

私は段階的に無償化を引き続き求めます。



市議5期20年で市政有年表彰をいただきました。

皆さまのご支援に感謝し、引き続きがんばります。



## 無党派を貫きます。

私は政党に所属せず20年間市議を続けてきました。市民の方々の中には、大多数の無党派の他にも、様々な政党の支持者もいらっしゃいます。様々な市民の方々の声を受け止めるためには、一つの党に偏しないほうがバランスがよいと考えるからです。

したがって政党交付金も含め、政治団体等の資金とは一切関係ありません。

（なお、船橋市議会内では発言権強化のため、考え方が近い市議の方々と船橋市議会内会派を作って活動します。）

